

## 新型コロナウイルス感染症の拡大による 水道事業経営への影響について ⑮

令和3年5月検針分（主に3・4月使用分）

### 用途別の影響

令和3年5月分の検針データを前年（コロナ後）及び前々年（コロナ前）と比較すると、主に家庭用となる20mm以下の口径は、前年度との比較では、水量は約26,000m<sup>3</sup>、2%の増、料金は約233万円、2%の増となりました。また前々年度との比較では、水量は約41,000m<sup>3</sup>、4%の増、料金は約390万円、3%の増となりました。

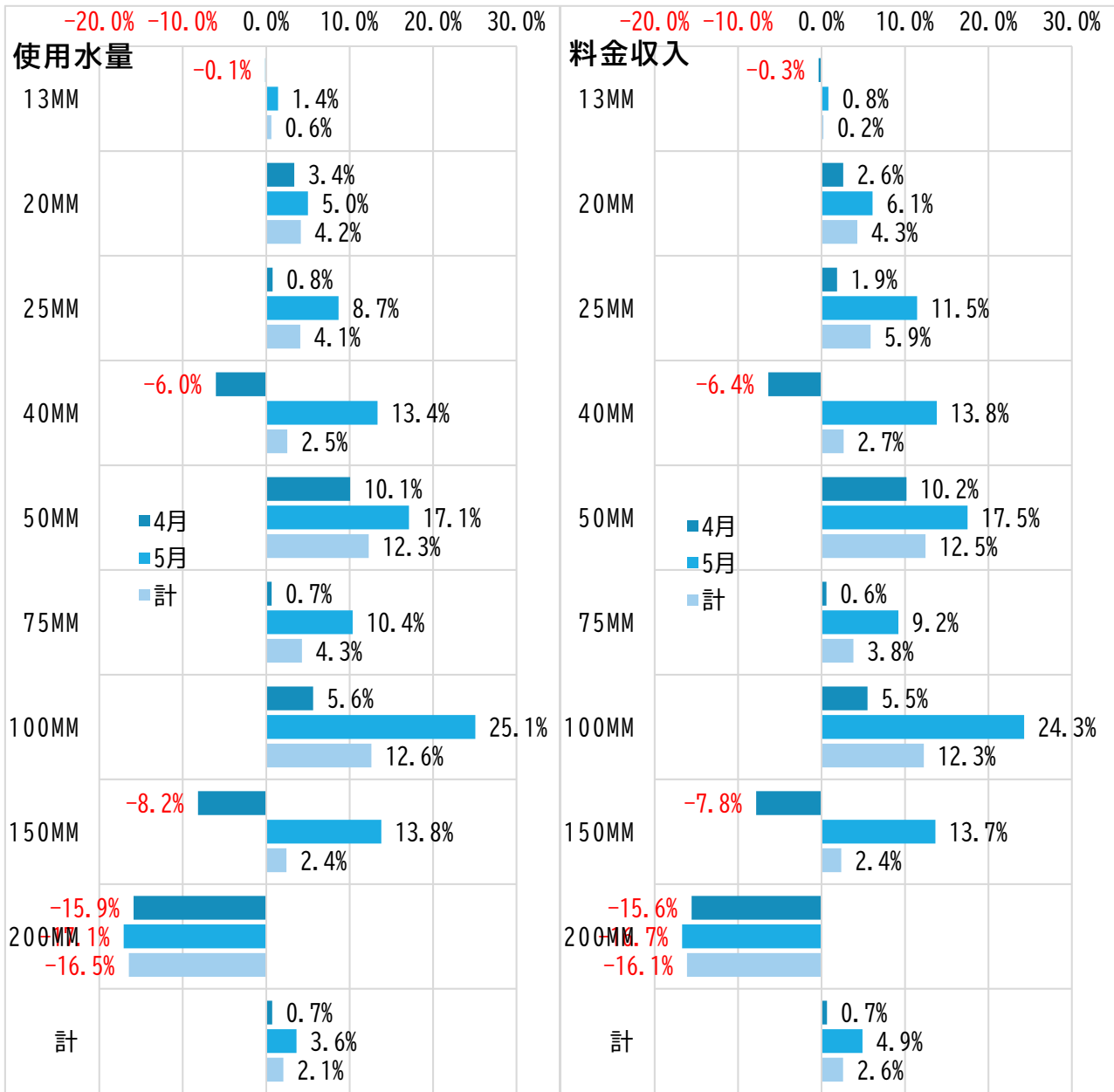
主に業務用となる25mm以上の口径は、前年度との比較では、水量は約24,000m<sup>3</sup>、13%の増、料金は約540万円、14%の増となりました。また前々年度との比較では、水量は約10,000m<sup>3</sup>、5%の減、料金は約250万円、5%の減となりました。

合計では、前年度との比較では水量約50,000m<sup>3</sup>、4%の増、料金約780万円、5%の増となり、前々年度との比較では水量約31,000m<sup>3</sup>、2%の増、料金約140万円、1%の増となりました。

検針年	区分	5月検針分（3・4月使用分）		
		20mm以下	25mm以上	合計
R1 (H31)	水量 (m <sup>3</sup> )	1,179,024	212,112	1,391,136
	金額(税抜き:円)	116,613,780	47,872,085	164,485,865
	供給単価(円)	98.91	225.69	118.24
R2	水量 (m <sup>3</sup> )	1,194,232	178,087	1,372,319
	金額(税抜き:円)	118,150,425	39,953,935	158,104,360
	供給単価(円)	98.93	224.35	115.21
R3	水量 (m <sup>3</sup> )	1,220,517	201,811	1,422,328
	金額(税抜き:円)	120,483,235	45,399,325	165,882,560
	供給単価(円)	98.71	224.96	116.63
対R2 増減  (コロナ後 との比較)	水量 (m <sup>3</sup> )	26,285	23,724	50,009
	増減率	2.20%	13.32%	3.64%
	金額(税抜き:円)	2,332,810	5,445,390	7,778,200
	増減率	1.97%	13.63%	4.92%
	供給単価(円)	△0.22	0.61	1.42
	増減率	△0.22%	0.27%	1.23%
対R1 増減  (コロナ前 との比較)	水量 (m <sup>3</sup> )	41,493	△10,301	31,192
	増減率	3.52%	△4.86%	2.24%
	金額(税抜き:円)	3,869,455	△2,472,760	1,396,695
	増減率	3.32%	△5.17%	0.85%
	供給単価(円)	△0.19	△0.73	△1.61
	増減率	△0.19%	△0.32%	△1.36%

### 口径別の対前年変動率

口径別の対前年変動率を見ると、使用水量、料金ともに、200mm以外の口径で増となり、すべて前月の伸びを上回る増加となりました。



考察

昨年5月検針分は、新型コロナウイルス感染症の拡大、及び緊急事態宣言の影響が大きく表れ始め、家庭での水道需要の増、業務用での需要減が鮮明となりました。今年5月検針分では、主に家庭用の20mm以下は、コロナの影響で増えた前年度をさらに上回り、主に業務用の25mm以上は、コロナの影響で減少した前年度を大きく上回るものの、コロナ前の前々年度には及びませんでした。なお、200mmの口径では、減少した昨年度よりも、さらに二桁以上の減少が続いており、一部の製造業で生産活動が低調であることが推測できます。

料金収入の3分の1を占める25mm以上合計で、前月よりもさらに増加率が増えたことは、水道事業の安定的な経営につながるものですが、コロナ前の状況には戻りきっておらず、引き続き25mm以上の口径の利用動向には注意を払う必要があります。